



第35回全国健康福祉祭えひめ大会

ねんりんピック愛顔のえひめ2023

ねんりんを重ねた愛顔 伊予に咲く

令和5年10月28日(土)~31日(火)

10月28日(土)、愛媛県総合運動公園陸上競技場で「ねんりんピック愛顔のえひめ2023」の総合開会式が行われ、愛南町では28日(土)・30日(月)までの3日間にかけて、御荘B&G海洋センター体育館を会場に将棋交流大会が開催されました。

全国から64チーム188人の選手が参加した今大会には、愛媛県代表として5チームが参加し、昨年行われた町内予選を勝ち抜いた3人による愛南チームも熱戦を繰り広げ、愛南町から4人の選手が参加しました。団体戦では愛媛県代表の「松山坊ちゃん支部」が広島県代表との決勝戦を制して優勝。地元開催の今大会で優勝を果たした3人は、「将棋の勝負も体力勝負などがあります。何戦も続けてやっている」と集中力も途切れてきませんが、何とか最後まで集中力をもたせることができてよかった」と優勝の喜びを噛みしめ、2日間の熱い戦いに幕を下ろしました。

30日(月)に行われた個人戦では、9ブロックに分かれてトーナメント戦による対局が行われ、大阪府代表で今大会最高齢の室哲さん(91歳)が見事ブロック優勝を果たしました。室さんは「私が優勝した姿を見て少しでも皆さんの励みになれば嬉しいです。」と笑顔で話しました。





大会結果(団体戦)

優勝:愛媛県(松山坊っちゃん支部)

準優勝:広島県(広島県)

第3位:鳥取県(鳥取梨砂丘)

第3位:山口県(山口県選抜)



プロ棋士4人との指導対局



おもてなしコーナー



愛媛CATV動画

松山市出身で以前から愛南町との交流がある黒田堯之^{たけゆき}五段や山根ことみ女流二段など、4人のプロ棋士による指導対局のブースも設けられました。大会参加者や小学生など、多くのアマチュア棋士がプロ棋士との交流を深めながら真剣勝負をしていました。

また、全国各地から来られた選手たちを地域の魅力でおもてなし。愛南町連合婦人会による郷土料理の提供や南宇和高校農業科生徒による加工品販売などが行われました。30日(月)の午後からは、紫電改や石垣の里を巡るミニ観光ツアーが実施され41人が参加しました。参加者は、「ミニ観光ツアーに絶対参加すると決めていました。石垣の里を見て、この風景を大切に守ってきた地元の方々の思いが伝わってきました」と感想を話しました。

全国大会では久々に顔を合わす将棋仲間もたくさんいます。選手同士の交流や地域との交流、さまざまな交流が生まれた今大会。ねりんを重ねた愛顔が咲き誇る3日間となり、選手たちは将棋を通じて知り合えた仲間との再会を願い、帰路につきました。

来年のねりんピックは鳥取県で開催されます。